

平成 15 年度食品安全モニター会議について（報告）

1 開催趣旨

平成 15 年度食品安全モニター会議については、モニターの方々に、食品安全委員会の動きを中心とした新しい食品安全行政の仕組みや食品健康影響評価などについて理解を深めていただくとともに、地域での取組について報告いただき、これらに関する意見交換を通じて、食品安全委員会の今後の取組や食品安全行政の適正な推進に資することを目的として開催した。

2 開催状況

平成 15 年 12 月から平成 16 年 1 月にかけて、全国 6 都市において計 7 回開催し、合計 327 名の食品安全モニターが参加した（別紙 1 参照）。

3 会議概要

会議は、大きく 2 部構成で行い、第一部では、最初に食品安全委員会委員より、食品安全委員会の役割や取組状況を中心に新しい食品安全行政の仕組みについて、続いて事務局より、食品安全委員会の大きな役割の一つでもある食品健康影響評価（リスク評価）について、具体的な事例等を挙げながら説明を行った。これらをもとに、食品安全委員会の活動や食品の安全性に関するご質問、ご意見をいただくなど、食品安全委員会委員等とモニターとの間で活発な意見交換を行った（別紙 2 参照）。

本年 1 月に開催した第 3 回（仙台市開催）以後の会議では、米国における B S E、国内での鳥インフルエンザの発生を受け、当該案件についても会議テーマの一つとして取上げ、事務局より説明を行い、情報の提供・共有に努めたところである。

第二部では、食の安全に向けた地域における先駆的な取組などについてモニターの方々から報告をいただき、モニター相互での意見交換など様々な視点から議論が行われた（別紙 2 参照）。

また、会議には、厚生労働省、農林水産省も出席し、リスク管理施策等幅広い観点からの意見交換に参加したところである。

なお、今後の会議等の運営に当たっての参考とするために会議終了後に行ったアンケート調査では、会議の運営、テーマ、モニターの位置づけなどについて忌憚のない率直なご意見等をお寄せいただいた（別紙 3、別紙 4 参照）。

平成 15 年度食品安全モニター会議開催状況

1. 平成 15 年度第 1 回食品安全モニター会議

日 時：平成 15 年 12 月 9 日（火）13：30～16：35

開催地：東京都

出席者：東京都、神奈川県、山梨県及び長野県の食品安全モニター（54 名）
寺尾委員長代理、見上委員、坂本委員、事務局長、事務局次長、勧告広報課長
厚生労働省、農林水産省

2. 平成 15 年度第 2 回食品安全モニター会議

日 時：平成 15 年 12 月 10 日（水）13：30～16：40

開催地：東京都

出席者：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県及び新潟県の食品安全モニター（55 名）
寺尾委員長代理、見上委員、本間委員、事務局次長、勧告広報課長、厚生労働省
農林水産省

3. 平成 15 年度第 3 回食品安全モニター会議

日 時：平成 16 年 1 月 16 日（金）13：30～16：50

開催地：宮城県仙台市

出席者：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県及び福島県の食品安全モニター
（37 名）
寺田委員長、事務局次長、勧告広報課長、厚生労働省、農林水産省東北農政局

4. 平成 15 年度第 4 回食品安全モニター会議

日 時：平成 16 年 1 月 20 日（火）13：30～16：10

開催地：大阪府大阪市

出席者：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県及び和歌山県の食品安全モニター（45 名）
見上委員、事務局次長、勧告広報課長、厚生労働省、農林水産省近畿農政局

5. 平成 15 年度第 5 回食品安全モニター会議

日 時：平成 16 年 1 月 21 日（水）13：30～16：20

開催地：愛知県名古屋市

出席者：富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県及び三重県の食品安全モニター
（48 名）
見上委員、事務局次長、勧告広報課長、厚生労働省、農林水産省東海農政局

6. 平成 15 年度第 6 回食品安全モニター会議

日 時：平成 16 年 1 月 27 日（火）13：30～16：20

開催地：広島県広島市

出席者：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県及び高知県の
食品安全モニター（45 名）
小泉委員、事務局次長、勧告広報課長、厚生労働省、農林水産省中国四国農政局

7. 平成 15 年度第 7 回食品安全モニター会議

日 時：平成 16 年 1 月 28 日（水）13：30～16：10

開催地：福岡県福岡市

出席者：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の
食品安全モニター（43 名）
小泉委員、事務局次長、勧告広報課長、厚生労働省、農林水産省九州農政局

平成 15 年度食品安全モニター会議議事概要

議事次第

1. 開会挨拶

2. 第一部

- (1) 食の安全性の確保のための新たな取組について - 食品安全委員会の動き -
- (2) 米国における BSE 発生等について 第 3 回以降議題として追加
- (3) リスク評価の方法と取組について
- (4) 意見交換

3. 第二部

- (1) 食の安全の確保に向けた地域における先駆的な取組などについて
(食品安全モニターからの報告)
- (2) 意見交換

4. 閉会

第一部での主な意見等

食品安全委員会活動関係

- ・食品安全委員会は、関係省庁からの評価の要請を受け、評価結果を通知するとされているが、これでは頼まれたことだけをやるといった非常に積極的でない感じがする。縦割り行政を破るような提言や施策の策定などに期待している。(埼玉県：男性)
- ・食品安全委員会は、科学的根拠にたって消費者がいかにリスクと折り合いながら安心感を創出するか、消費者に対してもっとこの点をアピールすべき。(広島県：女性)
- ・自分達の地域で起きた問題を消費者センターや保健所に知らせた場合、その結果が食品安全委員会まで到達するか知りたい。(埼玉県：女性)
- ・国と地方自治体が密接に連携を図っていくことが大切であり、緊急時だけでなく、平常時から情報や意見を交換できるような関係を作って欲しい。(東京都：女性)
- ・モニターがどのような観点で選ばれたのかを公表することも必要ではないか。(岩手県：女性)

BSE 関係

- ・なぜ米国では全頭検査ができないのか。日本でやっているのだから、米国にも同様の対策を要求すべき。(長崎県：男性)
- ・全頭検査体制によって、24 ヶ月齢以下の B S E 感染牛の発見されたので、米国にも B S E

全頭検査を要求すべきである。(岡山県：男性)

- ・米国輸入禁止の対応は少し厳しすぎるのではないか思う。経済損失が心配である。(山口県：男性)
- ・全頭検査で安心できるという議論があったが、むしろ BSE 感染経路を調べて対応することが有効と考える。(熊本県：男性)
- ・日本が要求している全頭検査が米国に受け入れられなかった場合は、どのように対応していくのか知りたい。(北海道：女性)
- ・BSE の問題、鳥インフルエンザの問題で輸入禁止措置等をとるに当たっては、食品安全委員会がどのように関与するのか知りたい。(宮城県：男性)
- ・BSE 感染牛を食べて vCJD を発病した人はいるのか知りたい。(福岡県：男性)
- ・医薬品のカプセルなどに使われているゼラチンについて不安である。(岩手県：女性)

鳥インフルエンザ関係

- ・鳥インフルエンザの説明を聞いて安心した。ぜひ、本会議であったような説明を、マスコミを通じて行って欲しい。(大阪府：女性)
- ・委員会は情報を整理して、必要な情報をきっちり流して欲しい。(岩手県：男性)
- ・食品を食べての感染例はないということであるが、そのメカニズムを知りたい。(滋賀県：男性)

その他

- ・農業関係に携わっていたものであるが、残留農薬の検査については、かなり高度なものが必要でコストが掛かるので、手軽にできる方法を作って欲しい。(静岡県：男性)
- ・農薬は工業的に生産する場合に不純物が入るが、その不純物まで安全なのか、またそのことが調べられているのか不安である。(三重県：男性)
- ・食品の安全性に対する国際的な基準と日本の基準に違いがある場合、輸入品についての検査がどのように行われているか知りたい。(千葉県：女性)
- ・GMO の抗生物質耐性マーカー遺伝子が腸内細菌と組み換わらないか心配である。安全でなければ安心できない。(三重県：男性)
- ・家畜に使用される抗生物質について不安がある。(東京都：女性)
- ・表示が未だに正確にされていない、あるいは決められたことが守られていない印象がある。マイナス情報が表示されない、あるいはなかなか伝わらない問題がある。(東京都：男性)
- ・食品衛生法と JAS 法の一本化を推進してはどうか。(福岡県：女性)
- ・特に卵や牛乳について、期限表示が業者によってまちまちで、消費者として納得できない。モラルの低い業者は厳しく指導すべき。(大分県：女性)
- ・6ヶ月前の卵が出荷され食中毒が発生する問題が起きたが、業者に対するきっちりとした指導、監督をして欲しい。(宮城県：女性)
- ・食中毒事件のトップはサルモネラ食中毒で、多くの場合卵が関与していると言われている。そのための防御の方法として賞味期限表示が定められたという認識が足りないのではないか。(福岡県：男性)

- ・消費者の信頼を得るためには、農家等の生産者も生産履歴をきちんと残すことが重要と思う。これからはトレーサビリティが必要となってくる。(高知県：男性)
- ・フグのホルマリン問題のその後の経過を知りたい。(山口県：女性)
- ・コイヘルペスに関係なくコイは安全だといわれているが、コイの消費が減っている。不安を感じている人に対してどのように伝えればよいのか。安全宣言のあり方について考えてもらいたい。(長野県：女性)
- ・日本はどのような形でコーデックスに参加しているのか知りたい。(兵庫県：男性)
- ・食育について、国として考えるべきではないか。(東京都：男性)

第二部での主な意見等

食品安全委員会活動関係

- ・安心を高めるためには、行政が信頼されることが必要である。食品安全委員会の知名度を上げる必要がある。もっと地域の方や地域の行政の方に対して、理解を深めるように要望する。(埼玉県：男性)
- ・食品安全委員会の目的は、食べ物にはゼロリスクはないということが前提になっていると思う。委員会には安全性のグレーゾーンの領域を確認しながら、縦割り行政を破ってもらいたい。(宮城県：女性)
- ・各地方自治体の食の安全推進協議会等と食品安全委員会はどのような関係にあるのか知りたい。(長崎県：男性)
- ・消費者が一番困るのは、様々な情報がいろいろなところからでてくることである。最終的には、食品安全委員会から出たものが一番安心、信頼できるというような情報源の一本化をお願いしたい。(兵庫県：男性)

食品安全モニター関係

- ・県内のモニター同士で意見交換などをしていきたい。モニターの名簿のようなものが欲しい。(香川県：女性)
- ・食品安全モニターに対して期待される役割とは何か。また、モニターの意見や報告が委員会に反映されたことがあるのか知りたい。(福岡県：男性)
- ・会議でのモニターの方々の意見やモニターからの報告について、そのモニターの方の職種経験区分など、どういった立場からのものなのかがわかるようにして欲しい。(北海道：女性)

その他

- ・地域における取組みについてのモニターからの報告がとても参考になった。身近な人にもぜひ伝えたいと思う。(千葉県：女性)
- ・日本で使用が認められていない食品添加物が使われた食品が輸入されているということがある。輸入食品の規制を厳しくして欲しい。(北海道：女性)
- ・安全であることは嬉しく、理想的であるが、農薬の使用などに関して、生産者が身動きできなくなっていくのではないかと危惧している。農業のことを考えると生産者にもあまり

無理のないようにするべきだ。(京都府：女性)

- ・ 検疫所を見学してみて、検査が非常に厳しく、時間も掛かるので、人員、設備の強化が必要と感じた。(東京都：女性)
- ・ 農薬や添加物については、世代をまたがって出てくる催奇性や発がん性といった影響など、食の安全性に関する未解明な部分について、非常に関心が高いと思う。(岐阜県：男性)
- ・ 米国では、遺伝子組換え大豆の生産量が多く、日本は輸入に依存するところが多いが、日本に輸入された遺伝子組換え大豆はどこで使われているのか知りたい。(東京都：女性)
- ・ スポーツドリンクなどの健康食品やサプリメントなどの栄養補助食品が増えているが、安全基準が必要ではないか。(愛媛県：男性)
- ・ 過去の事例研究が食中毒の防止には重要である。特に鶏卵についてはフードチェーン全体を見る必要がある。(福岡県：男性)
- ・ 賞味期限の現時点での根拠は何か。また、法律的根拠は何か知りたい。(千葉県：男性)
- ・ 食品衛生法では、食品衛生監視員に表示の適正化のために事業者を指導する権限があるそうだが、JAS 法にも食品衛生法と同様に食品衛生監視員の権限を定めて欲しい。(東京都：女性)
- ・ 食品企業の中には、逃げる、隠す、嘘をつくということが繰り返されており、これでは消費者と信頼関係が築けない。毅然とした態度で取り締まって欲しい。(北海道：男性)
- ・ 食品の安心安全への信頼が崩れたのは、生産流通での嘘がすべてだったと思う。各都道府県で、ボランティアなどの利用により費用をかけず、期限を決めずに生産加工業者を監視するような体制が必要だと思う。(千葉県：男性)
- ・ 子供への食の教育は大事なので、学校給食で栄養士による食育に力をいれて欲しい。また、環境省、文部科学省にも働きかけて、国全体で考えていかなければならない時代に来ていると思う。(北海道：男性)
- ・ 食べることは離乳食から始まり、保育園から高校を含めて長い時間をかけて、いい体がつくっていけるような食事のとり方だとか、意識を持てるような教育を行政の側からサポートして欲しい。(静岡県：女性)

平成15年度食品安全モニター会議アンケート結果

別紙 3

| | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 | 合計 |
|-------------|------------------|---------------------------|-------------------------------|----------------------------|------------------------------|--|---------------------------------------|------|
| 開催地 | 東京1 | 東京2 | 仙台 | 大阪 | 名古屋 | 広島 | 大阪 | |
| 開催日 | H15.12.9 | H15.12.10 | H16.1.16 | H16.1.20 | H16.1.21 | H16.1.27 | H16.1.28 | - |
| 参加者 対象地域 | 東京、神奈川、 山梨、長野 | 茨城、群馬、栃 木、埼玉、千葉、 新潟 | 北海道、青森、 岩手、宮城、秋 田、山形、福島 | 滋賀、京都、大 阪、兵庫、奈良、 和歌山 | 富山、石川、福 井、岐阜、静岡、 愛知、三重 | 鳥取、島根、岡 山、広島、山口、 徳島、香川、愛 媛、高知 | 福岡、佐賀、長 崎、熊本、大分、 宮崎、鹿児島 県、沖縄 | - |
| 参加者数 | 54人 | 55人 | 37人 | 45人 | 48人 | 45人 | 43人 | 327名 |

出席率：70.8%

| | 第1回(東京) | 第2回(東京2) | 第3回(仙) | 第4回(大阪) | 第5回(名古) | 第6回(広島) | 第7回(福岡) | 合計 |
|-----|---------|----------|--------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 回収数 | 51 | 54 | 34 | 45 | 47 | 45 | 41 | 317 |
| 回収率 | 94.4% | 98.2% | 91.9% | 100.0% | 97.9% | 100.0% | 95.3% | 96.9% |

問1 参加者の構成

| | 第1回(東京) | 第2回(東京2) | 第3回(仙) | 第4回(大阪) | 第5回(名古) | 第6回(広島) | 第7回(福岡) | 全体 |
|------------|---------|----------|--------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 食品関係業務経験者 | 27.5% | 33.3% | 23.5% | 17.8% | 31.9% | 31.1% | 19.5% | 26.8% |
| 食品関係研究職経験者 | 19.6% | 16.7% | 8.8% | 17.8% | 12.8% | 11.1% | 19.5% | 15.5% |
| 医療・教育職経験者 | 13.7% | 20.4% | 38.2% | 33.3% | 23.4% | 26.7% | 26.8% | 25.2% |
| その他消費者一般 | 37.3% | 27.8% | 29.4% | 31.1% | 31.9% | 31.1% | 31.7% | 31.5% |
| 無回答 | 2.0% | 1.9% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 2.4% | 0.9% |

問2 満足度合(第3回目以降アンケートの質問項目として追加)

| | 第1回(東京) | 第2回(東京2) | 第3回(仙) | 第4回(大阪) | 第5回(名古) | 第6回(広島) | 第7回(福岡) | 全体 |
|---------|---------|----------|--------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 満足 | - | - | 2.9% | 17.8% | 12.8% | 20.0% | 9.8% | 13.2% |
| だいたい満足 | - | - | 55.9% | 66.7% | 72.3% | 51.1% | 73.2% | 64.2% |
| どちらでもない | - | - | 20.6% | 4.4% | 14.9% | 13.3% | 4.9% | 11.3% |
| やや不満 | - | - | 2.9% | 0.0% | 0.0% | 11.1% | 4.9% | 3.8% |
| 不満 | - | - | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 無回答 | - | - | 17.6% | 11.1% | 0.0% | 4.4% | 7.3% | 7.5% |

< 講演「食の安全性の確保のための新たな取組について - 食品安全委員会の動き」について >

問3 - 1 理解度合

| | 第1回(東京) | 第2回(東京2) | 第3回(仙) | 第4回(大阪) | 第5回(名古) | 第6回(広島) | 第7回(福岡) | 全体 |
|-------------|---------|----------|--------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 理解できた | 41.2% | 20.4% | 32.4% | 44.4% | 40.4% | 26.7% | 34.1% | 34.1% |
| だいたい理解できた | 54.9% | 77.8% | 55.9% | 51.1% | 59.6% | 68.9% | 58.5% | 61.5% |
| あまり理解できなかった | 3.9% | 1.9% | 11.8% | 4.4% | 0.0% | 2.2% | 4.9% | 3.8% |
| 理解できなかった | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 無回答 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 2.2% | 2.4% | 0.6% |

問3 - 2 参考度合

| | 第1回(東京) | 第2回(東京2) | 第3回(仙) | 第4回(大阪) | 第5回(名古) | 第6回(広島) | 第7回(福岡) | 全体 |
|--------------|---------|----------|--------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 非常に参考になった | 31.4% | 31.5% | 26.5% | 48.9% | 34.0% | 37.8% | 46.3% | 36.6% |
| ある程度参考になった | 41.2% | 63.0% | 64.7% | 42.2% | 63.8% | 57.8% | 51.2% | 54.6% |
| あまり参考にならなかった | 2.0% | 5.6% | 8.8% | 4.4% | 2.1% | 4.4% | 0.0% | 3.8% |
| 全く参考にならなかった | 5.9% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.9% |
| 無回答 | 19.6% | 0.0% | 0.0% | 4.4% | 0.0% | 0.0% | 2.4% | 4.1% |

問4 わかりやすかった点(問3 - 1で「理解できた」、「だいたい理解できた」と回答した方のみ)

| | 第1回(東京) | 第2回(東京2) | 第3回(仙) | 第4回(大阪) | 第5回(名古) | 第6回(広島) | 第7回(福岡) | 全体 |
|-----------------|---------|----------|--------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 説明が明瞭で的確だった | 32.7% | 28.3% | 43.3% | 58.1% | 38.3% | 44.2% | 47.4% | 40.9% |
| 資料内容が明瞭で的確だった | 67.3% | 58.5% | 73.3% | 65.1% | 66.0% | 39.5% | 57.9% | 60.7% |
| 適切な説明時間が確保されていた | 12.2% | 24.5% | 10.0% | 16.3% | 12.8% | 14.0% | 10.5% | 14.9% |
| その他 | 14.3% | 7.5% | 13.3% | 2.3% | 4.3% | 7.0% | 7.9% | 7.9% |
| 無回答 | 4.1% | 3.8% | 20.0% | 0.0% | 4.3% | 11.6% | 0.0% | 5.6% |

問5 - 1 内容がわかりにくかった点(問3 - 1で「あまり理解できなかった」、「理解できなかった」と回答した方のみ)

| | 第1回(東京) | 第2回(東京2) | 第3回(仙) | 第4回(大阪) | 第5回(名古) | 第6回(広島) | 第7回(福岡) | 全体 |
|--------------------|---------|----------|--------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 説明に専門用語が多かった | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 50.0% | 0.0% | 100.0% | 0.0% | 16.7% |
| 資料がわかりにくかった | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 聞き取りにくかった | 0.0% | 0.0% | 50.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 16.7% |
| 適切な説明時間が確保されていなかった | 0.0% | 0.0% | 75.0% | 50.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 33.3% |
| その他 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 無回答 | 100.0% | 100.0% | 25.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 100.0% | 50.0% |

問5 - 2 参考にならなかった点(問3 - 2で「あまり参考にならなかった」、「全く参考にならなかった」と回答した方のみ)

| | 第1回(東京) | 第2回(東京2) | 第3回(仙) | 第4回(大阪) | 第5回(名古) | 第6回(広島) | 第7回(福岡) | 全体 |
|----------------------|---------|----------|--------|---------|---------|---------|---------|-------|
| すでに知っている内容がほとんどだったから | 75.0% | 66.7% | 100.0% | 0.0% | 100.0% | 50.0% | 0.0% | 66.7% |
| 知りたい内容についての講演がなかったから | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 50.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 6.7% |
| その他 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 無回答 | 25.0% | 33.3% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 50.0% | 0.0% | 20.0% |

< 講演「米国におけるBSEの発生等について」> (第6回目以降アンケートの質問項目として追加)

問6-1 理解度合

| | 第1回(東京) | 第2回(東京2) | 第3回(仙) | 第4回(大阪) | 第5回(名古屋) | 第6回(広島) | 第7回(福岡) | 全体 |
|-------------|---------|----------|--------|---------|----------|---------|---------|-------|
| 理解できた | - | - | - | - | - | 24.4% | 22.0% | 23.3% |
| だいたい理解できた | - | - | - | - | - | 66.7% | 61.0% | 64.0% |
| あまり理解できなかった | - | - | - | - | - | 2.2% | 9.8% | 5.8% |
| 理解できなかった | - | - | - | - | - | 2.2% | 0.0% | 1.2% |
| 無回答 | - | - | - | - | - | 4.4% | 7.3% | 5.8% |

問6-2 参考度合

| | 第1回(東京) | 第2回(東京2) | 第3回(仙) | 第4回(大阪) | 第5回(名古屋) | 第6回(広島) | 第7回(福岡) | 全体 |
|--------------|---------|----------|--------|---------|----------|---------|---------|-------|
| 非常に参考になった | - | - | - | - | - | 24.4% | 26.8% | 25.6% |
| ある程度参考になった | - | - | - | - | - | 68.9% | 63.4% | 66.3% |
| あまり参考にならなかった | - | - | - | - | - | 4.4% | 2.4% | 3.5% |
| 全く参考にならなかった | - | - | - | - | - | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 無回答 | - | - | - | - | - | 2.2% | 7.3% | 4.7% |

問7 わかりやすかった点(問6-1で「理解できた」、「だいたい理解できた」と回答した方のみ)

| | 第1回(東京) | 第2回(東京2) | 第3回(仙) | 第4回(大阪) | 第5回(名古屋) | 第6回(広島) | 第7回(福岡) | 全体 |
|-----------------|---------|----------|--------|---------|----------|---------|---------|-------|
| 説明が明瞭で的確だった | - | - | - | - | - | 51.2% | 44.1% | 48.0% |
| 資料内容が明瞭で的確だった | - | - | - | - | - | 36.6% | 58.8% | 46.7% |
| 適切な説明時間が確保されていた | - | - | - | - | - | 9.8% | 11.8% | 10.7% |
| その他 | - | - | - | - | - | 0.0% | 5.9% | 2.7% |
| 無回答 | - | - | - | - | - | 14.6% | 2.9% | 9.3% |

問8-1 内容がわかりにくかった点(問6-1で「あまり理解できなかった」、「理解できなかった」と回答した方のみ)

| | 第1回(東京) | 第2回(東京2) | 第3回(仙) | 第4回(大阪) | 第5回(名古屋) | 第6回(広島) | 第7回(福岡) | 全体 |
|--------------------|---------|----------|--------|---------|----------|---------|---------|-------|
| 説明に専門用語が多かった | - | - | - | - | - | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 資料がわかりにくかった | - | - | - | - | - | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 聞き取りにくかった | - | - | - | - | - | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 適切な説明時間が確保されていなかった | - | - | - | - | - | 100.0% | 0.0% | 33.3% |
| その他 | - | - | - | - | - | 0.0% | 25.0% | 16.7% |
| 無回答 | - | - | - | - | - | 0.0% | 75.0% | 50.0% |

問8-2 参考にならなかった点(問6-2で「あまり参考にならなかった」、「全く参考にならなかった」と回答した方のみ)

| | 第1回(東京) | 第2回(東京2) | 第3回(仙) | 第4回(大阪) | 第5回(名古屋) | 第6回(広島) | 第7回(福岡) | 全体 |
|----------------------|---------|----------|--------|---------|----------|---------|---------|-------|
| すでに知っている内容がほとんどだったから | - | - | - | - | - | 50.0% | 0.0% | 33.3% |
| 知りたい内容についての講演がなかったから | - | - | - | - | - | 50.0% | 100.0% | 66.7% |
| その他 | - | - | - | - | - | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 無回答 | - | - | - | - | - | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

< 講演「リスク評価の方法と取組」について >

問9 - 1 理解度合

| | 第1回(東京) | 第2回(東京2) | 第3回(仙) | 第4回(大阪) | 第5回(名古) | 第6回(広島) | 第7回(福岡) | 全体 |
|-------------|---------|----------|--------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 理解できた | 29.4% | 18.5% | 20.6% | 22.2% | 31.9% | 20.0% | 14.6% | 22.7% |
| だいたい理解できた | 62.7% | 66.7% | 64.7% | 66.7% | 57.4% | 71.1% | 58.5% | 64.0% |
| あまり理解できなかった | 2.0% | 9.3% | 11.8% | 11.1% | 6.4% | 6.7% | 19.5% | 9.1% |
| 理解できなかった | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 無回答 | 5.9% | 5.6% | 2.9% | 0.0% | 4.3% | 2.2% | 7.3% | 4.1% |

問9 - 2 参考度合

| | 第1回(東京) | 第2回(東京2) | 第3回(仙) | 第4回(大阪) | 第5回(名古) | 第6回(広島) | 第7回(福岡) | 全体 |
|--------------|---------|----------|--------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 非常に参考になった | 29.4% | 25.9% | 14.7% | 31.1% | 31.9% | 11.1% | 14.6% | 23.3% |
| ある程度参考になった | 25.5% | 59.3% | 73.5% | 62.2% | 61.7% | 80.0% | 61.0% | 59.3% |
| あまり参考にならなかった | 2.0% | 1.9% | 2.9% | 4.4% | 6.4% | 2.2% | 7.3% | 3.8% |
| 全く参考にならなかった | 2.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.3% |
| 無回答 | 41.2% | 13.0% | 8.8% | 2.2% | 0.0% | 6.7% | 17.1% | 13.2% |

問10 わかりやすかった点(問9 - 1で「理解できた」、「だいたい理解できた」と回答した方のみ)

| | 第1回(東京) | 第2回(東京2) | 第3回(仙) | 第4回(大阪) | 第5回(名古) | 第6回(広島) | 第7回(福岡) | 全体 |
|-----------------|---------|----------|--------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 説明が明瞭で的確だった | 53.2% | 58.7% | 41.4% | 57.5% | 47.6% | 53.7% | 43.3% | 51.6% |
| 資料内容が明瞭で的確だった | 63.8% | 56.5% | 72.4% | 52.5% | 59.5% | 34.1% | 56.7% | 56.0% |
| 適切な説明時間が確保されていた | 12.8% | 17.4% | 10.3% | 27.5% | 14.3% | 7.3% | 10.0% | 14.5% |
| その他 | 19.1% | 6.5% | 3.4% | 0.0% | 2.4% | 4.9% | 3.3% | 6.2% |
| 無回答 | 0.0% | 2.2% | 0.0% | 2.5% | 4.8% | 9.8% | 0.0% | 2.9% |

問11 - 1 内容がわかりにくかった点(問9 - 1で「あまり理解できなかった」、「理解できなかった」と回答した方のみ)

| | 第1回(東京) | 第2回(東京2) | 第3回(仙) | 第4回(大阪) | 第5回(名古) | 第6回(広島) | 第7回(福岡) | 全体 |
|--------------------|---------|----------|--------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 説明に専門用語が多かった | 0.0% | 40.0% | 25.0% | 60.0% | 33.3% | 100.0% | 62.5% | 51.7% |
| 資料がわかりにくかった | 0.0% | 40.0% | 25.0% | 0.0% | 33.3% | 100.0% | 25.0% | 31.0% |
| 聞き取りにくかった | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 20.0% | 66.7% | 0.0% | 25.0% | 17.2% |
| 適切な説明時間が確保されていなかった | 100.0% | 20.0% | 50.0% | 20.0% | 0.0% | 0.0% | 12.5% | 20.7% |
| その他 | 0.0% | 60.0% | 0.0% | 20.0% | 33.3% | 0.0% | 12.5% | 20.7% |
| 無回答 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 33.3% | 0.0% | 0.0% | 3.4% |

問11 - 2 参考にならなかった点(問9 - 2で「あまり参考にならなかった」、「全く参考にならなかった」と回答した方のみ)

| | 第1回(東京) | 第2回(東京2) | 第3回(仙) | 第4回(大阪) | 第5回(名古) | 第6回(広島) | 第7回(福岡) | 全体 |
|----------------------|---------|----------|--------|---------|---------|---------|---------|-------|
| すでに知っている内容がほとんどだったから | 50.0% | 0.0% | 100.0% | 50.0% | 0.0% | 100.0% | 0.0% | 30.8% |
| 知りたい内容についての講演がなかったから | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 50.0% | 0.0% | 0.0% | 66.7% | 23.1% |
| その他 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 100.0% | 0.0% | 7.7% |
| 無回答 | 50.0% | 100.0% | 0.0% | 50.0% | 100.0% | 0.0% | 33.3% | 53.8% |

< 発表 「モニターからの報告」について >

問12 参考度合

| | 第1回(東京) | 第2回(東京2) | 第3回(仙) | 第4回(大阪) | 第5回(名古) | 第6回(広島) | 第7回(福岡) | 全体 |
|-------------|---------|----------|--------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 非常に参考になった | 21.6% | 35.2% | 20.6% | 26.7% | 31.9% | 28.9% | 39.0% | 29.3% |
| ある程度参考になった | 66.7% | 55.6% | 67.6% | 53.3% | 57.4% | 42.2% | 39.0% | 54.6% |
| あまり参考にならなかつ | 3.9% | 1.9% | 0.0% | 2.2% | 6.4% | 2.2% | 7.3% | 3.5% |
| 全く参考にならなかった | 0.0% | 0.0% | 2.9% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.3% |
| 無回答 | 7.8% | 7.4% | 8.8% | 17.8% | 4.3% | 26.7% | 14.6% | 12.3% |

< 時間配分 >

問13-1 第1部

| | 第1回(東京) | 第2回(東京2) | 第3回(仙) | 第4回(大阪) | 第5回(名古) | 第6回(広島) | 第7回(福岡) | 全体 |
|-------------|---------|----------|--------|---------|---------|---------|---------|-------|
| もっと短くてもよかった | 13.7% | 20.4% | 14.7% | 8.9% | 6.4% | 11.1% | 4.9% | 11.7% |
| 適当であった | 39.2% | 44.4% | 11.8% | 77.8% | 38.3% | 35.6% | 41.5% | 42.3% |
| もっと時間が欲しかった | 43.1% | 35.2% | 67.6% | 11.1% | 53.2% | 40.0% | 48.8% | 41.6% |
| 無回答 | 3.9% | 0.0% | 5.9% | 2.2% | 2.1% | 13.3% | 4.9% | 4.4% |

問13-2 第2部

| | 第1回(東京) | 第2回(東京2) | 第3回(仙) | 第4回(大阪) | 第5回(名古) | 第6回(広島) | 第7回(福岡) | 全体 |
|-------------|---------|----------|--------|---------|---------|---------|---------|-------|
| もっと短くてもよかった | 13.7% | 11.1% | 5.9% | 4.4% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 5.4% |
| 適当であった | 39.2% | 40.7% | 14.7% | 62.2% | 44.7% | 31.1% | 41.5% | 40.1% |
| もっと時間が欲しかった | 35.3% | 35.2% | 61.8% | 26.7% | 51.1% | 42.2% | 43.9% | 41.3% |
| 無回答 | 11.8% | 13.0% | 17.6% | 6.7% | 4.3% | 26.7% | 14.6% | 13.2% |

平成 15 年度食品安全モニター会議アンケート（主な意見等）

会議の運営関係

（会議全般）

- ・食品の安全に関して今回のようなコミュニケーションの場を多く設けて欲しい。（東 2）
- ・食品安全委員会がどのような動きをするか、また、国民とどのような接点を持っているのか等について国民へアピールする方法をみんなで考える会議を持って欲しい。（東 2）
- ・通常ではなかなか得られない情報を得られてよかった。委員や関係省庁の人からの話がとても勉強になった。食品安全委員会の動きを詳しく知ることができた。（東 1、大、名）
- ・食品の安全に関してもっと詳しい情報が得られることを期待していたが残念だ。（福）
- ・モニター会議により、国民への説明義務が果たされたと考えることは間違いである。（広）

（説明内容等）

- ・健康影響評価の処理状況について、簡単でよいので会議で説明して欲しい。（名）
- ・専門的な職業に携わっていないとわからない語句が多かった。専門用語にもっと注釈をつけて欲しい。（名）

（意見交換）

- ・テーマを絞った意見交換を行って欲しい。（東 1、仙、大）
- ・意見交換の際、委員からの発言をもう少し多く伺いたかった。（東 1、仙、広）
- ・販売者、企業、消費者の各々の意見を聞きたかった。（名）
- ・BSE について多くの意見交換がなされていたが、不十分な気持ちが残っている。食品の安全と安心の基準についてなど、モニターが納得できないものは一般の国民も納得できないのではないか。（名）
- ・会議の内容がとてもかたい。「生きた声」が聞けないのではないか。モニターの声をもっと聞いてもらえる会にして欲しい。（仙、名）
- ・発表ではなくて、テーマに対するモニター同士の意見交換をしたい。（福）

（会議時間等）

- ・会議の時間が短い。意見交換の時間がもっと欲しい。（東 1、東 2、仙、名、広、福）
- ・地域での取組み状況の報告に時間をかけて欲しい。（東 1、東 2、福）
- ・同じ県のモニター同士の情報交換する時間を設けて欲しい。（福）
- ・会議の予定終了時間に終わらせるべきである。（東 1、仙、大、福）
- ・土日の開催を検討して欲しい。（大）

（会議規模等）

- ・もっと意見交換をしたかったので、人数の少ない会議にして欲しい。（福、大）
- ・全国規模の会議や地域代表の会議も開いて欲しい。（東 2、大）
- ・今回の人数程度でまたモニター会議を行って欲しい。（広）

モニター会議での希望するテーマ関係

- ・食の安全（環境と食の安全、食品衛生から考える食品の安全性、一般消費者にもわかる食の安全、食品安全モニターの具体的な活動方法、食の安全に対する消費者の取組例等のリスコミュニケーション、消費者の取組に対する国や県の協力）（東 2、広、仙、福）
- ・食品添加物（食品添加物の詳細、安全性と人体影響）（東 1、東 2、仙、名、広）

- ・残留農薬（残留農薬と人体への影響）（東1、福）
- ・輸入食品（輸入食品の安全性の確保、外国での食の安全に関する取組み、輸入食品の検査等の取組み）（東2、大、名、広、福）
- ・遺伝子組換え食品（安全性の評価法、食品の種類や安全性）（仙、大、広）
- ・健康食品（健康食品の現状と委員会の取組、特定保健用食品）（東1、東2、仙、広、福）
- ・食中毒（名）
- ・表示（産地表示、食品の偽表示・表示義務）（大、広、福）
- ・その他（「米」の安全、食の教育の実際の活動、風評被害の対策）（大、広、福）

食品安全モニター関係

（活動と役割）

- ・モニターのレベルに応じて、もっと深い行政への協力的存在を作るべきではないか。（広）
- ・個々のモニターの活動をどう地域に広げていけばいいのか。（仙）
- ・モニターとは何をするのかよくわからない。（仙、広、福）
- ・モニター依頼後、早い時期に役割内容等を周知するための会議を開催し、よりよい成果を挙げるよう努めて欲しい。（仙、大）
- ・一般の主婦にもという議論があったようだが、ある程度の専門性のある人たちを集めたモニターの声を集め、リスク管理の協力の和を広げていかざるを得ないと思う。（東1）
- ・活動が、科学的根拠に基づかず、風評の中での議論に逆戻りしかねない気がする。（大）

（任期等）

- ・モニターの依頼期間が短い。（東2、仙、広、福）
- ・モニターの依頼期間を延ばして欲しい。（広）

（情報提供）

- ・県単位のセミナーやフォーラムが行われる際に連絡して欲しい。（福）
- ・モニター報告や情報に関して、ホームページを見られる環境にないモニターもいるので、月1回程度は印刷物を郵送して欲しい。（東2、仙）

（モニターの交流等）

- ・モニター同士の意見交換ができるようにして欲しい。メーリングリストや掲示板などを作って欲しい。モニター同士のコミュニケーションが広げられるような場が欲しい。（東1、東2、仙、名、大、福）
- ・モニターからの報告などに関して、そのモニターのバックグラウンド等を知りたい。（仙）
- ・プライバシーの関係でモニターの個人情報は出してほしくない。（仙）

注) 東1、東2、仙、名、大、広、福とは、それぞれ東京都1回目、東京都2回目、仙台市、名古屋市、大阪市、広島市、福岡市の開催地での記載であることを示したもの。)